

## 【がん薬物療法専門医コース】

授業科目名	臨床腫瘍学演習Ⅳ(婦人科・原発不明)	授業形式	演習	
配当年次	1-4年次	選択・必修	選択	
単位数	2単位 30時間	曜日・時限	通年 月曜 16:00-18:00	
担当責任者	南 博信			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 婦人科腫瘍の特異性と婦人科腫瘍研究の近年の動向について理解し、EBM に基づいた婦人科腫瘍の診断と治療について説明することができる</li> <li>2. 諸臓器癌と婦人科腫瘍の関連性について述べることができる。</li> <li>3. 原発不明癌の定義、組織学的分類について説明することができる。</li> <li>4. 必要とされる診断に必要な検査、原発不明癌の治療について説明することができる。</li> </ol>			
授業の概要		演習内容	担当者	場所
	20時間	婦人科がんの診断と治療	藤原	腫瘍・血液内科医局
	5時間	原発不明がんの診断と治療	藤原	腫瘍・血液内科医局
	5時間	骨軟部腫瘍の診断と治療	藤原	腫瘍・血液内科医局
	<p>実際に担当した患者情報を用いて、臨床診断、治療法の決定方法、治療法の具体的経過観察、治療効果について学習する。疾患ごとの授業課程は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションと講義 <ul style="list-style-type: none"> <li>(キ) 疾患についての講義</li> <li>(ク) 自主学習の目標設定</li> <li>(ケ) 患者の割り当て</li> </ul> </li> <li>2. 自主学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>(コ) 実際の患者の診療に携わる</li> <li>(サ) 診断・治療・臨床経過のまとめ</li> <li>(シ) 考察 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者の臨床的特徴</li> <li>2. 疾患の臨床的特長</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>3. プレゼンテーション: 学生と教官とで討議</li> <li>4. 病歴要約をレポートとして提出する。</li> </ol> <p>受け持ち患者の種類や人数は学生と教官との合意により決定する</p>			
関連科目	共通特論Ⅱ: 臨床腫瘍学総論			
成績評価	病歴要約レポートとプレゼンテーションの内容で評価する。			
備考	(メールアドレス) 藤原 豊(腫瘍・血液内科学分野 助教)yufujiwa@med.kobe-u.ac.jp (オフィスアワー) 腫瘍・血液内科医局 水曜日 16:00~17:00			